

第 63 回市町村職員を対象とするセミナー 介護予防に係る取組について	
--	--

平成 19 年 7 月 27 日	資料 3 - 2
------------------	----------

資料 3 - 2 :

伊勢原市における介護予防事業（栄養改善）の取組

～一般高齢者施策・特定高齢者施策・福祉サービスとの連動～

平成19年7月27日 第63回市町村職員を対象とするセミナー
「介護予防に係る取組みについて」



伊勢原市における 介護予防事業(栄養改善)の取組み ～一般高齢者施策、特定高齢者施策、福祉サービスとの連動～

伊勢原市役所 介護高齢福祉課
管理栄養士 市川 祐子

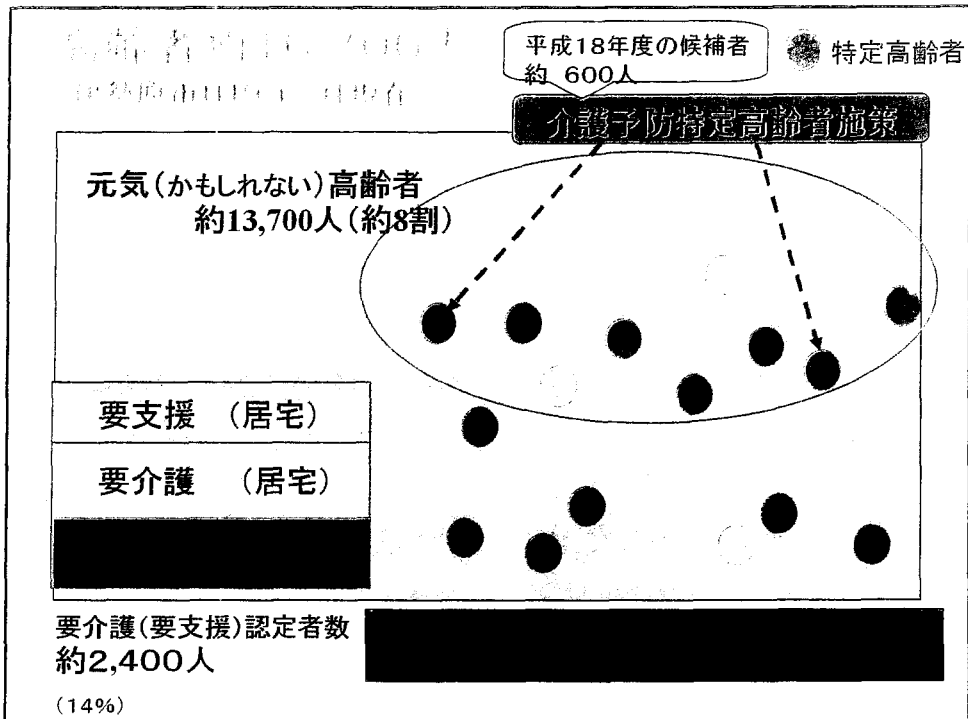
[伊勢原市の概要]

(平成19年7月現在)

- ・人口97,787人(住基人口)
- ・65歳以上人口 16,694人(高齢化率 17.1%)
- ・関八州の総本山、大山のふもとに広がる伊勢原市は、神奈川のほぼ中央に位置し、都心への通勤圏内。(新宿まで約1時間)
- ・農家の多い山里の地域と駅周辺の産業地域、住宅地とに分かれる。
- ・地域によっては高齢化が進行している。
- ・市内に3つの地域包括支援センターがある。

(社会福祉法人に委託)





伊勢原市 特定高齢者数(栄養) 102名※(平成18年度)

*内訳 (人数)

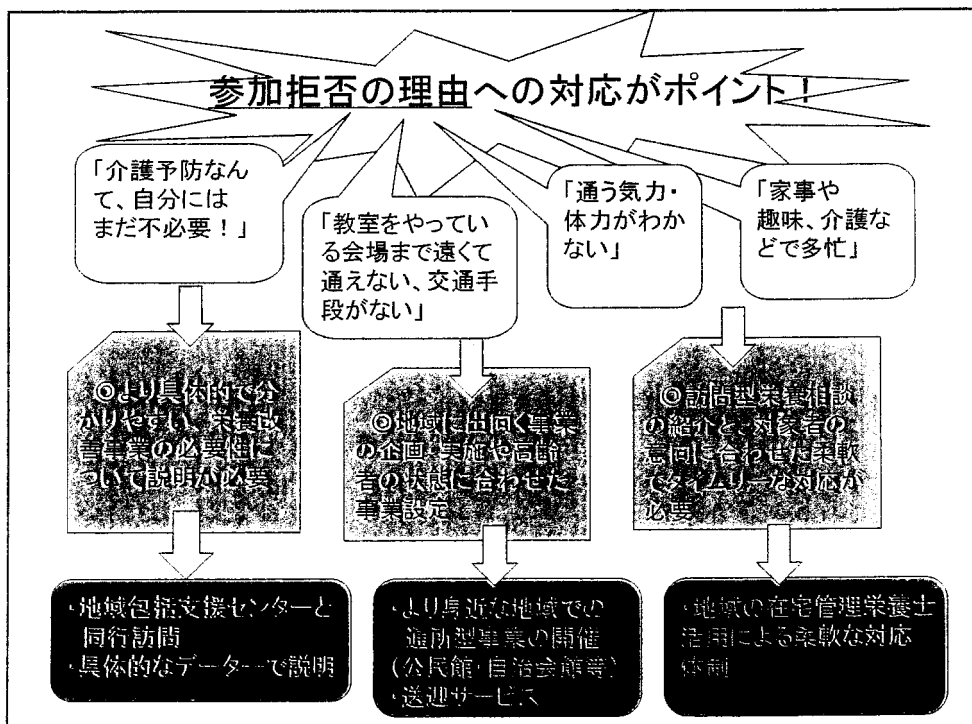
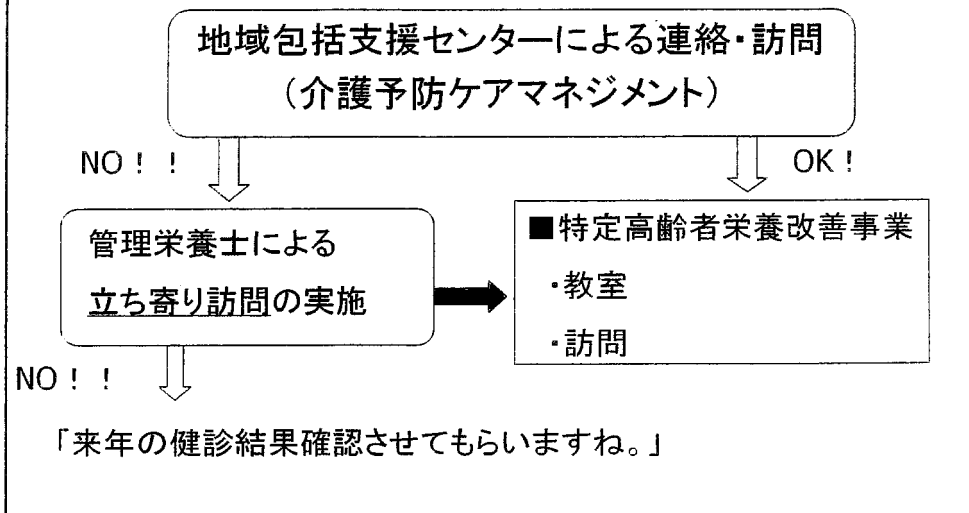
・基本健康診査 ※特定高齢者候補者 (特定高齢者のうち約18%が低栄養の疑いに該当)	100
・一般高齢者施策事業で発掘	1
・独居登録者への案内通知	1

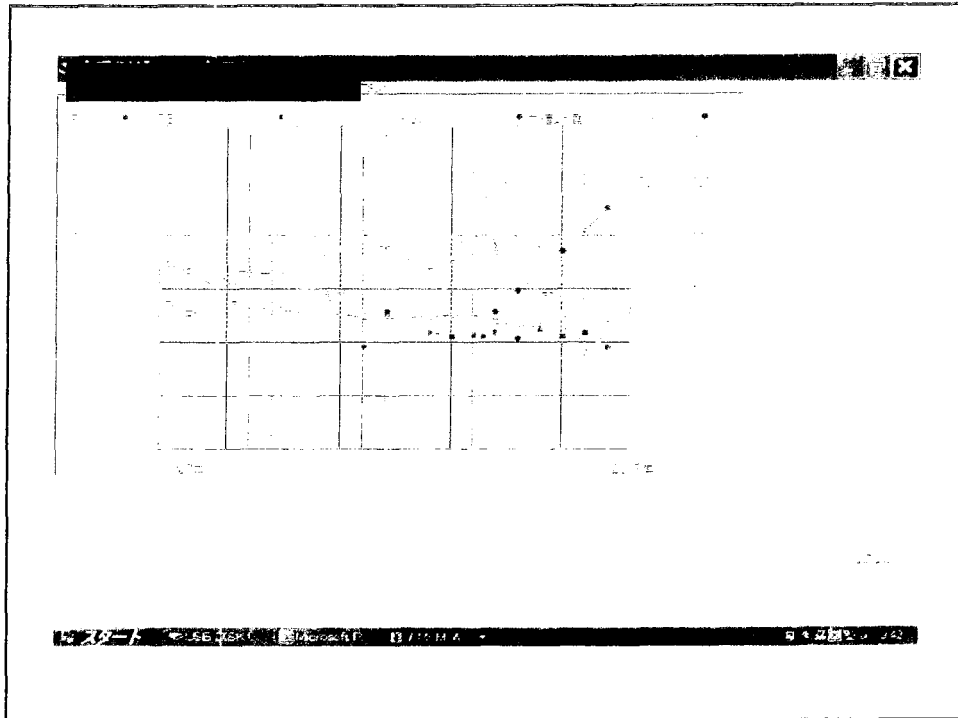
うち、実態把握・栄養相談を実施 (18年度分を現在も継続実施中)

→うち、アプローチが継続できたケース	30名
→そのうち、通所型(栄養教室)へつながったケース (13名の内訳)	13名

〔・管理栄養士の訪問での関わりから通所へつながった 9名
・地域包括支援センターのアプローチにより通所へつながった 4名〕

伊勢原市 特定高齢者(栄養)へのアプローチ方法

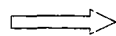




特定高齢者施策(通所型) 「美味しく食べよう！栄養教室」

- ★6回コースを年間2回
- ★1回目 管理栄養士訪問(個別栄養指導)
 - (身体計測、食生活状況や毎日の食生活、血圧の測定)
 - 自己実現のための課題と目標、栄養相談(管理栄養士による)
 - 計画づくりを支援していく)
- ★2回目～6回目(10:00～13:00)の内容
 - ①調理実習(お弁当箱に詰める練習のない内容)
 - ②おやつづくり(この日はPM開始)
 - ③高齢者向けの運動
 - ④歯科教室

⇒毎回、個別栄養相談も実施。個々の状況変化にも留意している。



どの回からでも参加OKに！
(タイムリーに対応できるように)

教室の様子



「楽しい！」がキーワード→負担にならないプログラムで



〔教室参加者の状況(抜粋)〕

年齢	性別	初回把握BMI	現在BMI(経過月数)	体重増減	アルブミン
77	F	15.2	16.0(4)	1.6	—
79	M	16.8	16.4(7)	▲1.1	—
81	F	16.0	17.2(7)	2.8	—
79	M	24.4	25.5(7)	2.8	3.5
65	F	17.5	18.8(9)	2.1	4.8
82	F	17.9	17.8(6)	▲0.4	4.5
71	F	16.6	17.0(7)	0.8	3.1
67	F	23.4	25.1(5)	2.4	3.5
71	F	12.9	14.1(5)	2.4	4.2
80	M	15.8	16.8(3)	2.2	3.8
82	F	18.4	18.2(3)	▲0.4	4.0
75	F	18.4	19.1(4)	1.3	4.2

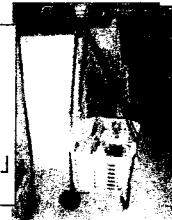
【感想】 ・「楽しかった。家でも試し喜ばれた。」
 ・「家だとこんなに食べられないけど、教室にくると全部食べられる」
 ・「これで終わるのは寂しい。また続けて参加したい」

〔主な訪問型(栄養)の状況(終了者等)〕

年齢	性別	初回把握BMI	現在BMI(経過月数)	体重増減	アルブミン
78	M	16.3	18.6(*4)	6.8	3.3
74	M	14.3	14.3(6)	0	—
79	M	16.2	16.8(3)	1.7	4.0
75	F	18.2	18.2(*3)	0	3.9
82	M	15.5	15.0(*4)	▲1.8	3.9
87	F	18.2	18.8(3)	1.2	3.8

* → 継続中

【感想】 ・「最初は正直不審に思ったが、自分のことを心配して来てもらえるのが嬉しい。」
 ・「何度か説明を受けて、なぜ自分に訪問しにくるのかようやく分かった。」
 ・「月に1回来ると思うと、体重を減らさないよう気にして過ごせた」



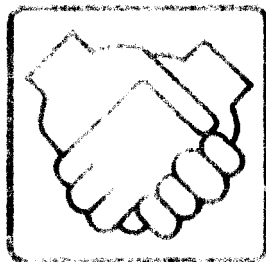
特定高齢者施策(栄養改善)推進のポイント

- 参加拒否者にも管理栄養士が会い、つなげていく
 - ・管理栄養士による実態把握のための立ち寄り訪問
 - ・地域包括支援センターと同行訪問し、具体的なデータで説明
 - ・義歯のトラブル多いため、歯科衛生士と同行
- 通所型が難しい方への対応も充実
 - ・地域型(サテライト型)
 - ・訪問型

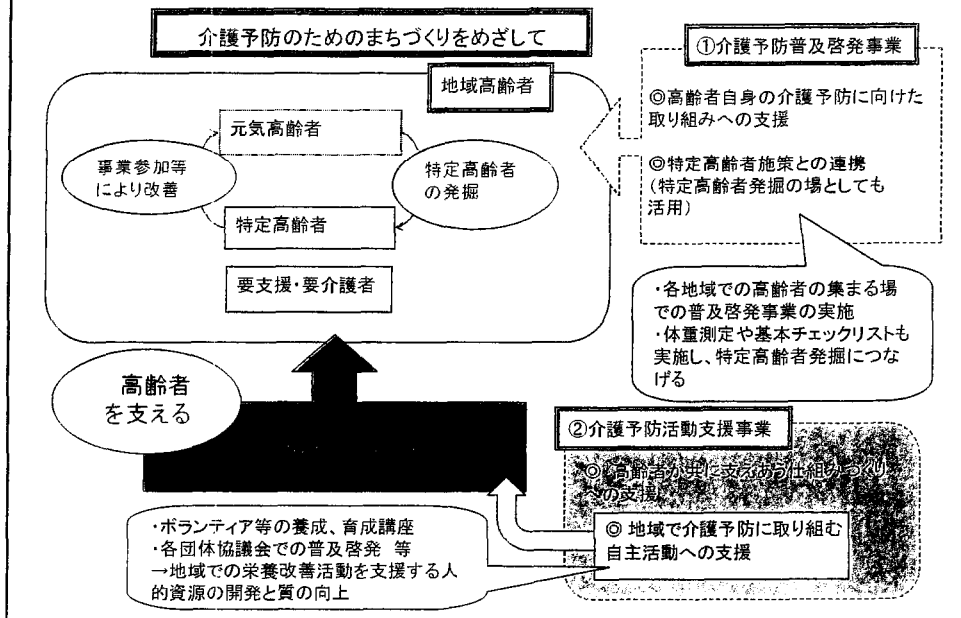


通所型参加へつなげていく

一般高齢者施策と 福祉サービスについて



一般高齢者施策から特定高齢者施策へのつながり



（一般高齢者施策）

- 普及啓発だけではなく、特定高齢者の発掘の場も兼ねる。

（老人会やミニサロンには体重計を持参）

「ただの講話では聴いてもらえない！」

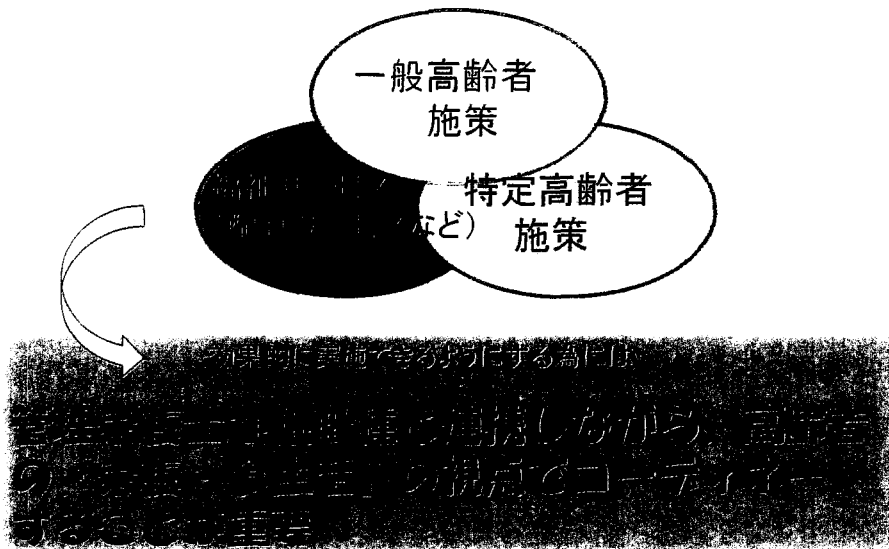
→参加型に（BMI計算やってみよう！等）

→電子レンジやオーブントースターを集会所へ運び、
現代版キッチンカー！？（簡単クッキング）

（福祉サービス）

- 配食サービスにより特定高齢者を発掘

〔3つを連動させながら推進することが重要！〕



〔介護高齢福祉課・管理栄養士の 主な業務内容〕

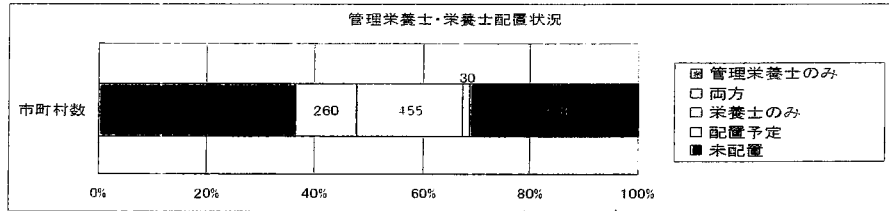
- 平成18年4月から常勤管理栄養士が1名配属
+ 平成19年～ 臨時職員管理栄養士・栄養士12名
(臨時職員内訳: 管理栄養士7名+栄養士5名)

- ① 一般高齢者施策・・・普及啓発, ボランティア育成・養成
- ② 特定高齢者施策・・・通所型, 訪問型
- ③ 福祉サービス・・・配食サービスの適正化のための
アセスメント, モニタリング



3つの業務を連動させながら、効果的に実施できるようマネジメントすることが可能になった。

市町村管理栄養士・栄養士配置状況



そのうち、介護予防部門への管理栄養士の配置状況

・常勤の管理栄養士配置 206市町村(回答市町村の23%)

・そのうち専任管理栄養士は122市町村(回答市町村の13.6%)

(平成18年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金「施設及び居宅高齢者に対する栄養・食事サービスのマネジメントに関する研究」主任研究者 杉山みち子)

「市町村高齢者の栄養・食事サービスのマネジメントの関する実態調査」より: H19年3月実施

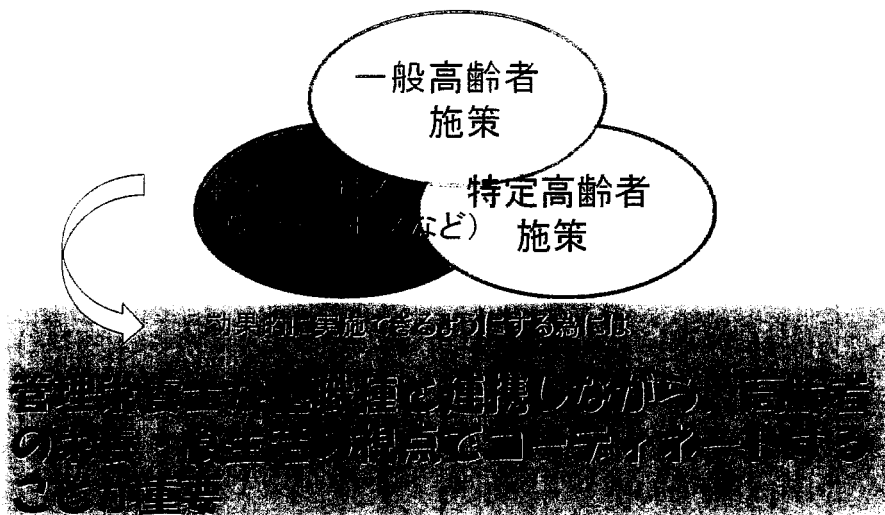
介護部門への管理栄養士・栄養士の配置状況による 取り組みの違い

調査から有意差が出た項目

- ◆一般高齢者施策(栄養改善)の実施
- ◆特定高齢者施策(栄養改善)の実施
- ◆未実施の理由の3割が管理栄養士・栄養士未配置
- ◆管理栄養士・栄養士による65歳以上への個別サービスの実施
- ◆配食サービス利用者への栄養アセスメント、モニタリング 等

・(平成18年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金「施設及び居宅高齢者に対する栄養・食事サービスのマネジメントに関する研究」主任研究者 杉山みち子)「市町村高齢者の栄養・食事サービスのマネジメントの関する実態調査」より: H19年3月実施

〔3つを連動させながら推進することが重要！〕



ご静聴ありがとうございました。



<http://www.city.isehara.kanagawa.jp/>

レシピ、各課管理栄養士・栄養士のコラム、
食育ガイドライン… などなど随時更新しています。

■ホームページをぜひ、ご覧ください！